北野小だより

No. 4　７月号　平成２６年　７月　１日

東三鷹学園挨拶標語

広げよう 地域の笑顔 あいさつで

東三鷹学園三鷹市立北野小学校
校長　仲光　秀城
〒181-0003　東京都三鷹市北野３-１-５
E-mail　12-kitano@m-schoolnet.jp
http://www.mitaka-schools.jp/kitano-es/

親子で過ごす時間

副校長　髙野　正之

「見て、お父さん。こんなに大きいのが採れたよ。」

「すごいね。もっと掘ってごらん。きっとたくさん埋まっているから。」

「今日は、カレーライスでも作ろうかしら。」

「やったぁ。楽しみだな。ありがとう、お母さん。」

会場のあちらこちらで交わされる父と子、母と子の楽しい会話を聞き、思わず笑みがこぼれました。

先日の６月２１日、北野地区委員会主催による地域伝統行事「親子じゃがいも掘り大会」が行われました。４００名を超える参加者で学校農園は大賑わい、２トン近いじゃがいもをみんなの力で掘り出しました。額に大粒の汗を光らせ、いもが詰まったカゴを持って何往復もする６年生の男子、うず高く積まれたいもを計量し、丁寧に袋に詰める６年生の女子の活躍に最高学年としての誇りと意気込みを感じ、嬉しく思いました。子どもたちの成長を見守り、この日のために準備に当たってくださった地域やＰＴＡ役員、保護者の方々の支えには感謝の思いでいっぱいです。

この地域行事の最大の魅力は、名前からも分かるように、「親子」で参加できることです。学校で実施する行事の多くは参観型です。しかし、この行事は違います。親と子が共に活動をする参加型なのです。同じ体験をすることで一体感が生まれ、自然と会話も弾みます。他の親子との交流も深まり、校内でのネットワークが広がっていきます。

子どもの頃に刻んだ思い出は、生涯、心に残り、時がたつにつれて光を放っていきます。なかでも、家族と過ごす時間は何ものにも代えがたい貴重なものです。間もなく長い夏休みを迎えます。学校を離れ、家庭や地域で過ごす時間が増え、子どもたちにとっては楽しみな期間です。どうかお子様と共に中身の濃い時間を過ごしていただきたいと思います。

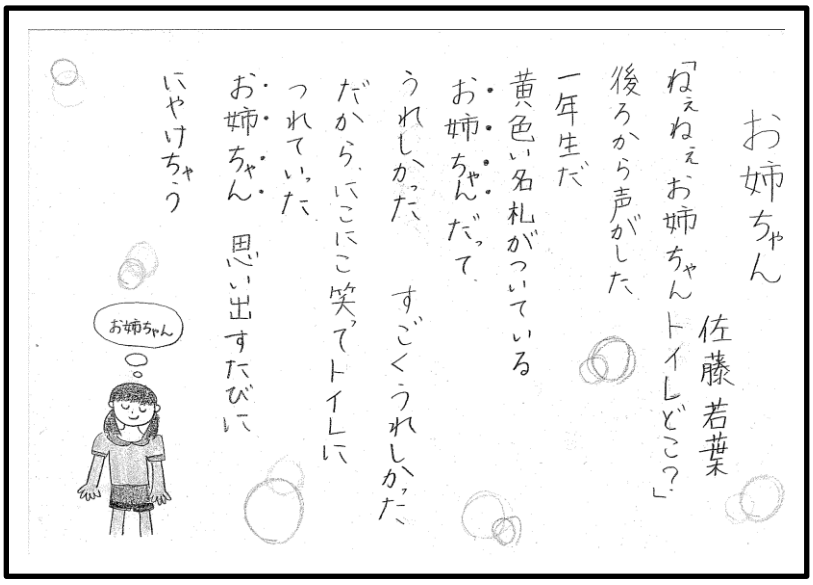
新学期に子どもたちからたくさんの思い出話が聞けることを心待ちにしています。安全で楽しい素敵な夏休みを送ってください。

北野小学校では、セクシュアル・ハラスメントに関する校内相談員として、次の２名を選任しております。何かお困りのことがございましたら、ご相談ください

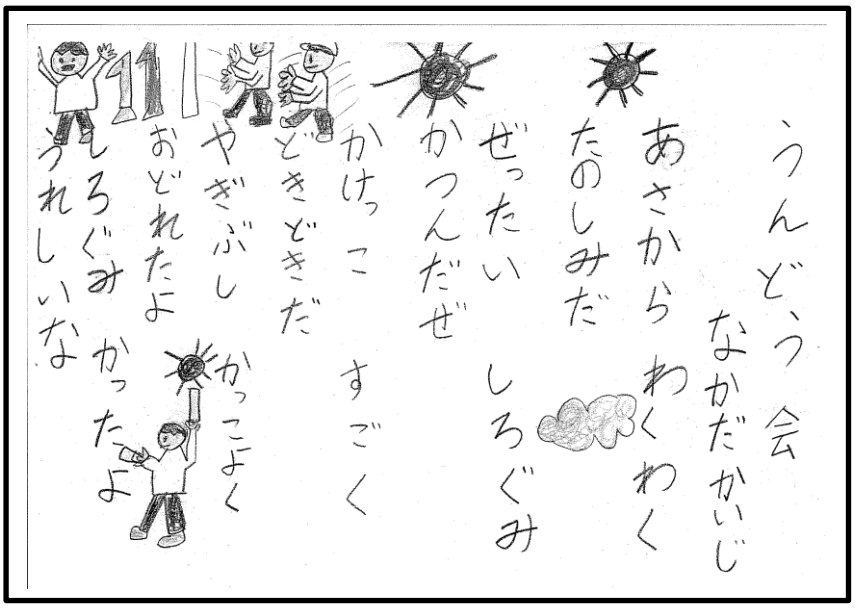
副校長：髙野　正之　　養護教諭：三上　美樹

詩のポケット

≪校長賞≫



５年　佐藤　若葉



２年　中田　海城

７ ・ ８ 月 の 行 事 予 定	
7月	２１日（月）　夏季休業日始
１日（火）　安全指導　参観保護者会（2・4・5年）	２２日（火）　夏季水泳指導前期始（３１日まで）
２日（水）　参観保護者会（１・３・６年）	２３日（水）　補充学習始（２５日まで）
３日（木）　東京都学力調査（５年）	個人面談始（３１日まで）
４日（金）　避難訓練	8月
７日（月）　委員会活動　けやき学級通級指導終	２０日（水）　夏季水泳指導後期始（２８日まで）
８日（火）　三鷹市エコ野菜贈呈式（４年）	補充学習（２２日まで）
９日（水）　たてわり班オリエンテーリング	３１日（日）　夏季休業日終
１７日（木）　自然教室説明会（６年）　給食終	9月
１８日（金）　終業式	１日（月）　２学期始業式 引き渡し訓練 給食始

遊び場開放日　校庭開放　月・金（１５：１５から１６：４５まで）
体育館開放　水　（１４：３０から１６：００まで）
７月の開放日：　４日（金）　７日（月）　９日（水）　１１日（金）
※夏季休業中の開放はありません。

安全教育の取組について

生活指導部　長田　春美

北野小学校では、安全教育として、「生活安全」「交通安全」「災害安全」の３つの領域について年間を通じて計画的に指導しています。

「生活安全」の一つとして、『セーフティ教室』を学校公開日に行っています。今年度、低学年は「不審者の対応について」、中学年は「万引きについて」、高学年は「救急の基礎について」をテーマに学習しました。また、月毎・週毎に生活の目標を決め、常に意識して学校生活を送れるよう子どもたちの実態に合わせて指導しています。

「交通安全」では、毎年春に『交通安全教室』を行っています。安全についてのビデオを視聴し、様々な交通道徳を身に付けます。３年生については、三鷹警察署、北野地区交通対・青少対、ＰＴＡ校外委員の方々のご協力を得て、自転車の点検や実地訓練を行い、正しい自転車の乗り方を学んでいます。

「災害安全」では、毎月、『避難訓練』を行っています。「訓練で完璧にできないことは実際に起きた時もできない」という姿勢で真剣に取り組ませています。

安全教育は「命」にかかわる大切な学習です。一人ひとりが自分のこととして考え、自分自身で危険を回避し、とるべき行動を選択することができるようになってほしいと考えています。

そして、学校だけでなく、安全教育は生活を送る全ての場で学んでいく必要があります。ご家庭でもお子さんと一緒に、「登下校の安全」や「自転車の正しい乗り方」などについて折に触れて話し合い、子どもたちが自分自身の行動について考える機会を多くつくっていただければ幸いです。

３年　自転車教室の様子

熱中症の予防

養護教諭　三上　美樹

子どもは体温調節や血圧調節機能が未発達のため、熱中症を起こしやすいと言われています。特に多い症状は、立ちくらみ等の熱失神で、高温環境下で過度に血管が拡がり、一時的に脳への血液量が減ってしまうことが原因です。正しい知識をもって対処すれば、熱中症は予防できます。

≪子どもの熱中症を防ぐポイント≫

〇顔色や汗のかき方を十分に観察しましょう。顔が赤く、ひどく汗をかいている場合は深部体温がかなり上昇していると推察できます。

〇喉の渇きに応じて、自分で判断して適度に水分補給できるように声をかけましょう。

〇日頃から適度に外遊びをさせて、暑さに慣れさせましょう。

≪熱中症を疑うときには≫

●涼しい環境への避難…風通しのよい日陰やクーラーの効いている室内で休憩しましょう。
立ちくらみの場合は、足を高くして、末梢から中枢へマッサージすることも有効です。

●脱衣と冷却…脱衣が難しくても首元やベルト等はゆるくして風通しを良くします。皮膚に水をかけ、うちわ等で扇ぐか、保冷剤等で首筋、脇の下、股関節を冷やしましょう。

●水分・塩分の補給…冷たい飲み物が有効です。「吐き気がある」、「吐く」場合は無理に飲ませず、症状がなかなか治まらない場合は受診しましょう。

●医療機関への搬送…意識障害があるとき、自力で水分摂取ができないときは救急車要請をしましょう。

食育の取組

健康教育部　　高崎　裕紀子

近年、朝食欠食や偏った栄養摂取などで食生活が乱れ、子どもたちの健康を取り巻く環境が深刻化しています。子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付け、健康で豊かな食生活を送ることができるように、食育の推進が求められています。

北野小では、各教科や総合的な学習の時間、学級活動、給食など、さまざまな教育活動の中で食に関する指導を行っています。以下の６つの目標について、発達段階に応じて身に付けられるよう、継続して指導していきます。

《学校で取り組む食育の目標》

【食事の重要性を理解する】
食事は、生きていくために欠かせないものであり、規則正しくとることが大切です。また、仲間との食事は、食事の楽しさを知り、心を豊かにすることにつながります。

【心身の健康について考える】
健康の保持増進には、栄養のバランスがとれた食事とともに、適切な運動、休養、睡眠が必要です。自分の食生活を見直し、よりよい食習慣を身に付けることが大切です。

【食品を選択する力を身に付ける】
給食にはいろいろな食品が使われています。正しい知識や情報に基づいて、衛生や食の安全性について関心をもち、自分で選択する力を高めることが大切です。

【感謝の心をもつ】
食べ物は、自然が育てた「命」です。私たちは、命をいただいて毎日を過ごしています。自然や動植物、また、生産者への感謝の気持ちを忘れずに、残さず食べることが大切です。

【社会性を身に付ける】
協力して食事の準備や片付けをすること、またマナーを考えて食事をすることは、相手を思いやることであり、楽しい食事につながります。

【食文化を理解する】
郷土料理や季節・行事にちなんだ料理があること、また外国の食事を知ることは、国際理解につながるとともに、日本の風土や食文化の理解を深めることにつながります。

７月の目標

【月目標】

身の回りの

整理整頓をしよう

【言葉の目標】

「です」「ます」をつけて話す

生活指導部　岡本　あゆ美

１学期最後の月になり、学習・生活のまとめの時期となりました。「使ったものはきちんともとの場所に片付ける」「自分の身の回りは自分で整理整頓する」が十分にできている子と努力が必要な子がいます。身の回りを整えると気持ちがすっきりして、学習の効率も上がります。玄関の靴のかかとをそろえたり、使ったおもちゃや文房具をもとの場所に戻したりさせるなど、ご家庭でも日頃から声をかけていただきたいです。

職員室に入室する際、「〇年〇組〇〇です。〇〇先生いますか。」と呼ぶ姿が多く見られるようになり、入室時のマナーが身に付いてきました。これからも相手や場面に応じた丁寧な言葉遣いができるよう私たち教職員も範を示していきます。